

まちの現状と問題点

未活用の廃校があるため、取り壊すのにもお金がかかるため取り残されている。維持費用もかかり税金がかかる。
学校は地域を動かすものであります。そのため廃校となると地域の繋がりが希薄になってしまうことも課題だと考えます。



まちの未来の姿

SDGs 【 11 】

廃校が活用されることで、新しい雇用が生まれ、学校に児童が通っていた時のような世代間交流が生まれる。
通っていた校舎が残り続ける。
廃校を利用しキャッシュを得ることで維持費用が捻出できる。

思い描く未来に向けてのプロジェクトアイデア

プロジェクト名 【 廃校を最高に 】

維持・管理および取り壊しにかかる費用を(ただお金がでていくだけになる可能性が高い)、リノベーションやプロジェクト運営費に回すことができ、お金や地域交流を生み出すプラスの活動が生まれる。
廃校は宿泊や合宿(スポーツ,勉強)等に利用する際、設備投資が新規で建設するよりも大幅コストダウンになる。(耐震設備・上下水道・電気・ガス・グラウンド等設備も整っている)
外国人旅行者に対しては、日本の学校体験をしてもらうことができる

プロジェクトを拡げるために必要だと思う協働先(企業、団体、学校、自治体etc.)と協働方法

運営会社 → 宿泊や合宿等の運営

旅行会社 → 海外ツアー客の獲得

地方自治体 → 税金の支出を減らすことができる。利用認可等をしていただく。